

# オリックス・バファローズ 観客動向調査研究2014

前ページに掲載したオリックス・バファローズ観客動向調査の2014年度における活動の事例です。総合情報学部と商学部の学生が専門性を活かした調査・分析および提案を行いました。



球場で調査を行う学生

## 活動の概要

目的	野球観戦についてのマーケティング調査の実施 / 大学とプロ野球 オリックス・バファローズとの連携強化
連携メンバー および役割	オリックス野球クラブ株式会社 (オリックス・バファローズ) …野球ビジネスのレクチャー、球団として要望する調査項目の提示、 「大学生によるマーケティングプレゼンテーション」開催 他大学ゼミナール…調査・分析および報告 関西大学総合情報学部准教授 松本渉 / 関西大学商学部准教授 宮崎慧 …調査設計と実施、データの分析と報告
活動地域	萩谷総合公園野球場 (大阪府高槻市) / 関西大学高槻キャンパス
活動期間	2014年4月～11月

## 連携の経緯

2013年度における観客動向調査研究を受け、オリックス野球クラブ株式会社が再度の調査実施を大学に依頼。2014年度は松本ゼミと宮崎ゼミが調査活動を実施することとなった。また、同社の意向に基づき、2014年度は関西大学以外に大阪商業大学と京都産業大学がそれぞれの視点で調査・分析のうえ、集客力向上に向けた提案を行うこととなった。



成果発表時の様子①

成果発表時の様子②

## 解決すべき課題

- (1) 市民球場での試合実施と告知の効果測定
- (2) 学生視点での分析と提案に関する期待

## 大学の役割

本プロジェクトは、2013年度に引き続き、大学生がオリックス・バファローズ2軍戦来場者の観客動向調査・分析を行ったのち、集客力向上に向けた提案を行うものである。

関西大学からは、調査とマーケティングを専門に学ぶ松本ゼミと宮崎ゼミが参画。各ゼミ生が中心となって調査手法と調査項目を作成のうえ、同球団の公式試合において合同で調査・分析を実施した。また、他大学では大阪商業大学と京都産業大学からそれぞれゼミが別球場で各々の調査活動を展開した。

11月にはオリックス・バファローズが高槻市内で3大学合同の「大学生によるマーケティングプレゼンテーション」を主催。関西大学の学生からは来場者に応援の楽しさを知ってもらうことを目的に「応援グッズの無料貸し出し」などを提案した。他大学からも「SNSによる2軍選手の成長ストーリー発信」や「初心者向け野球ルールガイドの配布」などが提案され、参加大学の学生の間で活発な議論が行われた。

## 成果

- (1) 関西大学高槻キャンパス内で球団と高槻市に対し調査結果を発表
- (2) 球団への調査データと分析結果の提供
- (3) 学生が社会調査の実際を体験
- (4) 異なる学部の学生間の交流と異なる大学の学生間での意見交換の実現

## 今後の展望

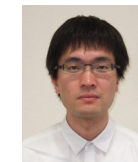
- (1) 球団および大学双方にとって最良の調査研究活動の模索

## 研究者の紹介



総合情報学部 准教授  
松本 渉  
(まつもと わたる)

専門は社会調査、非営利組織論。市民の意識調査の実践と分析、そして調査法の研究を継続するとともに、マスコミの世論調査の助言などを行っている。



商学部 准教授  
宮崎 慧  
(みやざき けい)

マーケティング・リサーチ、マーケティング・サイエンスを担当。マーケティングデータの分析手法を開発する研究を行っている。